

インテック、三菱UFJ銀行のAI・データ分析基盤に コンテナ管理プラットフォームを導入 ～コンテナ技術でデータ分析サイクルを加速し、DXを推進～

TIS インテックグループの株式会社インテック（本社：富山県富山市、代表取締役社長：北岡隆之、以下インテック）は、株式会社三菱UFJ銀行（以下：三菱UFJ銀行）のAI・データ分析基盤をコンテナ※1化し、コンテナ管理に「kubernetes（クバネティス）※2」を導入したことを発表します。

※1 コンテナ：OS上のアプリケーションの動作環境を仮想的に区切る技術の一つで、アプリケーションの稼働に必要なリソースをパッケージングしたものです。

※2 kubernetes：コンテナの運用管理と自動化を目的に設計されたオープンソースのシステムです。複数のコンテナで構成されたシステム全体を効率良く管理します。

■背景

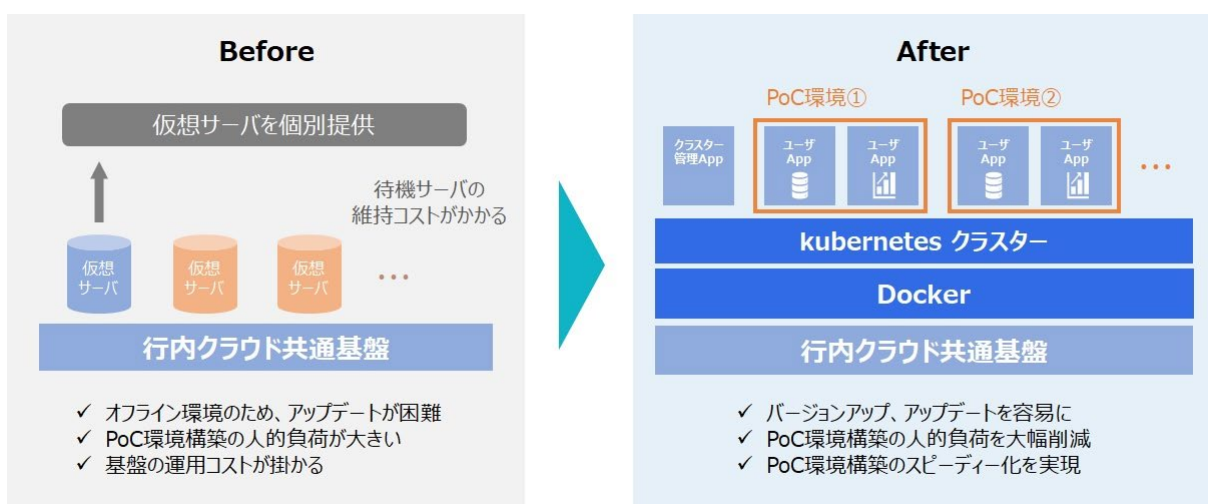
三菱UFJ銀行では、数年前から行内に蓄積しているデータを活用するため、多くのAI・データ分析のPoC（実証実験）環境をオフライン※3のクラウド上に構築、運用してきました。しかし、AI・データ分析に必要なアプリケーションやライブラリは外部環境から入手、アップデートしなくてはならず、PoC環境の構築や管理に負荷がかかっていました。

長年にわたり三菱UFJ銀行のシステム開発に携わってきたインテックは、これらの課題を解決するため、三菱UFJ銀行のAI・データ分析基盤をコンテナ型仮想化のDocker※4を使用してコンテナ化し、「kubernetes」を使用したコンテナ管理プラットフォームを構築しました。

※3 オフライン：コンピュータなどが通信回線やネットワークなどに接続されていない状態のことです。ここでは外部ネットワークから切り離れた行内環境のことを指します。

※4 Docker：Docker社が開発したコンテナ実行環境のことを指します。1台のコンピュータ上に、隔離された実行環境を構築できるソフトウェアです。

<AI・データ分析基盤のコンテナ化、「kubernetes」導入のイメージ>



■導入の効果・メリット

① PoC 環境構築の効率化とコスト削減を実現

従来は PoC 環境が必要となった場合、PoC 要件に沿って既存環境をカスタマイズする必要がありましたが、コンテナ化によって全く同じ PoC 環境を容易に複数構築することや、外部環境でコンテナイメージを構築することが可能になりました。外部環境で構築したコンテナイメージは、オフラインの PoC 環境に持ち込み、コンテナを起動するだけですぐに利用できます。その結果、環境構築にかかる人的費用・リソースの削減と、期間短縮に成功しました。

② PoC 環境の安定運用を実現

コンテナにはアプリケーションを実行する機能しかないため、コンテナ管理やほかのサーバーとの連携は「Kubernetes」で行っています。「Kubernetes」には、どのようなアプリケーションが動いているかを監視する機能や、コンテナがダウンしたり、間違えて削除した場合でも自動回復する機能などがあるため、障害にも強い安定運用を実現しています。

③ 多様な PoC を柔軟に実施し、DX を推進

コンテナ化と「Kubernetes」の導入によって、これまでは環境構築にかかる費用対効果に見合わなかった DX 施策の PoC も実施可能となり、行内の AI・データ分析サイクルが加速しました。

■お客様からのコメント

弊行のデータ分析環境は情報保護の観点からオフライン環境となっており、外部アプリケーションの導入や最新ライブラリへの更新等、PoC 要件に合わせた環境構築に伴う技術的ハードルや作業負荷がネックとなっていました。また、施策ごとにインスタンスを構築する必要があり、クラウド利用料等の運用コストも大きな負担となっていました。

今回のコンテナ環境の導入により、多様な PoC を柔軟に実施することが可能となる上、環境構築や運用に係るコスト・期間の短縮も可能となり、DX の加速・推進に大きく貢献できるのではないかと期待しています。

株式会社三菱 UFJ 銀行
デジタルサービス企画部 DX 室 上席調査役
尾高雄一郎氏

■今後の展開

インテックは、今後も豊富な実績と技術力で三菱 UFJ 銀行の DX 推進をサポートします。

また、今回のコンテナ管理プラットフォーム導入のノウハウを生かし、お客様の環境、ご要望に合わせたコンテナ技術の有効性検証からコンテナ稼働環境の構築、コンテナアプリケーションの導入と運用、さらにはコンテナ開発技術者の育成※5 まで幅広くサポートしていきます。

インテックは、今後も技術力の向上に努め、お客様の DX 推進に貢献します。

※5 IT ビジネス研修：コンテナ開発技術者を習得する「コンテナ開発入門」コースを開講中です。
(https://www.intec.co.jp/service/detail/it_business_training/)

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

インテックについて (<https://www.intec.co.jp/>)

お客様の経営戦略に沿った情報化戦略の立案からシステムの企画、開発、アウトソーシング、

サービス提供、運用保守まで、IT分野において幅広く事業を展開しています。インテックは、1964年の創業以来培ってきた技術力をもとに、AI、RPA等のデジタル技術の活用や、新たな市場の創造にも積極的に挑戦しています。常にオープンな姿勢で、人、企業、社会を技術でつなぎ、自らも変革しながら「豊かなデジタル社会の一翼を担う」企業としてお客様に新しい価値を提供してまいります。

TIS インテックグループについて

TIS インテックグループはグループ社員約 2 万人が一体となって、強みを活かし、国内および海外の金融・製造・サービス・公共など多くのお客様のビジネスを支える IT サービスを提供しています。デジタル技術を駆使したムーバーとして、未来の景色に鮮やかな彩りをつけていきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

◆報道関係からのお問い合わせ先

株式会社インテック テクノロジー&マーケティング本部 広報室 小川、長谷、稲垣

E-Mail : press@intec.co.jp

◆本サービスに関するお問い合わせ先

株式会社インテック 第一金融ソリューション事業本部 金融事業企画部 吉田、袁

E-Mail : k8s_info@intec.co.jp